

とちぎマイスター「機械加工（マシニングセンタ作業）」の技能の例

組合せと工夫で、高精度・高難度試作部品の製作に挑む

おおやま たけし
大山 武志

市貝町 在住

株式会社 栗崎歯車製作所 製造部 (TEL 028-677-0725)

客先・社内技術者達と折衝しながらより高次な試作部品の製作検討を行う

(現在の仕事)

製造課長として会社全体(旋盤・歯切り・マシニング・放電加工・研磨分野等)の技術的な牽引者である。また、技能五輪出場選手の指導も行っている

(得意な分野)

形状がめまぐるしく変わる自動車用精密歯車の試作製品の製作のため、歯車を含む様々な3次元形状の製品に対応するマクロプログラムを数多く作成し、類似の加工を変数だけで処理する流れを完成させた。CAMを使用し、3D形状をモデリングして5軸マシニングを使い、複雑な形状の製品を製作し、顧客からの信頼を得てきた。

機械加工の基礎をしっかりと押さえ、積極的にチャレンジする事

若いうちに学んだ機械加工の基礎が、現在の自身の仕事にも役に立っています。加工に関する土台をしっかりと築いておくことで、一步先の仕事への挑戦を可能にすると思います。また、土台がしっかりしている事は、

挑戦した結果失敗した際の、原因分析をする際にも役に立ちます。そうした一連の流れの中で仕事の質を高められることで、ものづくりの楽しさを感じ、また新たに挑戦し、成功・失敗をくりかえし、楽しさを感じる良いサイクルになっていくのではないのでしょうか。

